



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月8日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社
 コード番号 5192 URL <https://www.mitsuboshi.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 沖田 聡
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 078-685-5630

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,600	6.9	2,144	7.4	3,003	14.8	2,043	23.5
2022年3月期第1四半期	19,263	33.9	2,317	118.5	2,615	116.3	1,654	80.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 4,787百万円 (134.3%) 2022年3月期第1四半期 2,043百万円 (15.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	71.76	
2022年3月期第1四半期	56.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	120,575	87,294	72.4
2022年3月期	118,963	86,877	73.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 87,294百万円 2022年3月期 86,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		33.00		110.00	143.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		110.00		110.00	220.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,200	5.7	4,000	0.0	3,800	14.4	2,700	7.4	95.01
通期	77,500	3.5	8,000	4.7	8,000	6.5	6,300	1.3	221.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	32,604,198 株	2022年3月期	32,604,198 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	4,272,063 株	2022年3月期	3,822,063 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	28,482,135 株	2022年3月期1Q	29,076,719 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国のゼロコロナ政策による影響を受けましたが、世界的な行動制限の緩和や解除が進み、回復基調にて推移いたしました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻、原材料価格の高騰、サプライチェーンの混乱が続いているうえ、世界的なインフレ率の上昇やこれに伴う急速な金融引き締めによる景気の後退懸念が強まっており、依然として不透明で予断を許さない状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは引き続き新型コロナウイルス感染防止策を講じつつ、2022年5月に'21中期経営計画（2021年度～2023年度）の見直しを行い、変化にぶれない強い企業体質の確立を目指し、財務体質の強化から資本効率の向上へと進化を図り、収益向上とバランスシート改善に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高20,600百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益2,144百万円（前年同期比7.4%減）、経常利益3,003百万円（前年同期比14.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,043百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内ベルト〕

自動車用ベルトは、新型コロナウイルス、半導体不足によるユーザの減産影響により売上高が減少しました。

一般産業用ベルトにおいても同様に農業機械メーカーなど、ユーザの生産調整の影響を受け、売上高が減少しました。

一方、搬送ベルトは、食品業界の需要回復や物流業界向け大型倉庫案件、新製品の売上が好調に推移したことから売上高が増加しました。

また、合成樹脂素材においても拡販活動に伴う新規受注獲得などから売上高が増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は6,999百万円（前年同期比0.0%減）、セグメント利益は2,360百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

〔海外ベルト〕

当セグメントにおいて前年同期と比較し、中国ではロックダウンの影響を受け売上は減少しましたが、欧米及びその他アジア地域での売上増加に伴い全体では増加となりました。

自動車用ベルトは、米国にて部品不足によるユーザの減産影響を受け二輪車・多用途四輪車向けの売上高は減少しましたが、欧米での一般補修市場の拡販強化、東南アジアやインドにおけるコロナ禍回復基調に伴う売上回復により、全体では前期を若干上回る結果となりました。

一般産業用ベルトは、中国を除くアジア地域では、農業機械用などの補修市場にて在庫調整があり、売上高が減少しました。一方、欧米での市況回復、拡販強化に努めた結果、全体では売上高が増加しました。

また、OA機器用ベルトについても東南アジアを中心に売上高が増加しました。

その結果、為替の円安影響もあり、当セグメントの売上高は11,084百万円（前年同期比17.9%増）、セグメント利益は1,329百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

〔建設資材〕

建築部門は新型コロナウイルスの影響を受け、改修工事の遅れが生じ売上高は減少しました。土木部門においても工事物件や規模が減少し売上高は減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は1,138百万円（前年同期比29.1%減）、セグメント利益は53百万円（前年同期比36.6%減）となりました。

〔その他〕

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は1,377百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は88百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

(注) 上記の各セグメントにおける売上高は外部顧客への売上高を記載しており、セグメント利益はセグメント間取引消去前の金額を記載しております。

なお、セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末は、流動資産が1,187百万円、固定資産が425百万円それぞれ増加したことから、総資産は前連結会計年度末比1,612百万円増加の120,575百万円となりました。

負債は、固定負債が73百万円減少したものの、流動負債が1,269百万円増加したことから、前連結会計年度末比1,195百万円増加の33,281百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が1,122百万円減少したことに加えて、自己株式の取得1,204百万円があったものの、その他の包括利益累計額が2,743百万円増加した結果、前連結会計年度末比417百万円増加の87,294百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の73.0%から72.4%に低下しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界的なインフレ率の上昇やこれに伴う急速な金融引き締めによる景気の後退懸念が強まっており、先行きについては依然として不透明な状況が続くことが見込まれるため、2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,708	33,919
受取手形、売掛金及び契約資産	17,788	18,251
商品及び製品	15,324	16,086
仕掛品	2,115	2,371
原材料及び貯蔵品	3,892	4,135
その他	833	1,093
貸倒引当金	△123	△131
流動資産合計	74,540	75,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,329	7,344
機械装置及び運搬具（純額）	9,115	9,863
工具、器具及び備品（純額）	2,054	2,009
土地	3,958	3,977
リース資産（純額）	1,409	1,571
建設仮勘定	2,804	3,076
有形固定資産合計	26,671	27,842
無形固定資産	891	827
投資その他の資産		
投資有価証券	15,179	14,405
その他	1,698	1,791
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	16,860	16,178
固定資産合計	44,423	44,848
資産合計	118,963	120,575

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,898	10,164
短期借入金	3,227	3,230
未払法人税等	1,576	511
賞与引当金	928	1,546
製品保証引当金	508	538
その他	6,075	7,492
流動負債合計	22,215	23,484
固定負債		
長期借入金	900	675
退職給付に係る負債	2,226	2,561
役員退職慰労引当金	13	14
その他	6,730	6,545
固定負債合計	9,870	9,797
負債合計	32,086	33,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,119	2,119
利益剰余金	70,315	69,193
自己株式	△6,395	△7,599
株主資本合計	74,188	71,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,368	8,868
為替換算調整勘定	3,344	6,656
退職給付に係る調整累計額	△25	△93
その他の包括利益累計額合計	12,688	15,431
純資産合計	86,877	87,294
負債純資産合計	118,963	120,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	19,263	20,600
売上原価	13,133	14,115
売上総利益	6,130	6,484
販売費及び一般管理費	3,813	4,339
営業利益	2,317	2,144
営業外収益		
受取利息	22	29
受取配当金	197	222
為替差益	88	677
その他	75	68
営業外収益合計	383	998
営業外費用		
支払利息	10	11
固定資産除却損	14	102
その他	59	25
営業外費用合計	84	139
経常利益	2,615	3,003
税金等調整前四半期純利益	2,615	3,003
法人税等	961	959
四半期純利益	1,654	2,043
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,654	2,043

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,654	2,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	523	△500
為替換算調整勘定	△222	3,311
退職給付に係る調整額	88	△67
その他の包括利益合計	389	2,743
四半期包括利益	2,043	4,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,043	4,787
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,002	9,402	1,604	18,009	1,254	19,263	—	19,263
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,875	526	13	3,415	245	3,660	△3,660	—
計	9,877	9,928	1,618	21,424	1,499	22,924	△3,660	19,263
セグメント利益	2,027	1,250	84	3,362	75	3,437	△1,120	2,317

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,120百万円には、セグメント間取引消去△257百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△863百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,999	11,084	1,138	19,222	1,377	20,600	—	20,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,373	516	—	3,890	722	4,613	△4,613	—
計	10,373	11,601	1,138	23,112	2,100	25,213	△4,613	20,600
セグメント利益	2,360	1,329	53	3,744	88	3,832	△1,687	2,144

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,687百万円には、セグメント間取引消去△712百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△975百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。